

【成果情報】

[技術名]

オステオスペルマム新品種「ヴィエントラビオス（仮称）」の特性

[要約]

オステオスペルマム新品種「ヴィエントラビオス（仮称）」は、深みのあるオレンジ系の花色で、色あせが少なく、1月下旬から約6か月間開花する。

[場所担当係・センター名]

群馬県農業技術センター・園芸部・野菜第一係

[連絡先]

電話 0270-62-1021(代)

[背景・ねらい]

本県のオステオスペルマムは鉢物、花壇苗として生産され、出荷量、生産者数ともに全国でもトップクラスを誇っている。生産者は様々な取り組みで生産振興を図っており、新品種の育成が望まれている。農業技術センターではこれまでに、イオンビーム照射を利用して（独）日本原子力研究開発機構、（有）はなせきぐちと共同で「ヴィエントフラミンゴ」を育成した。さらにバリエーションを追加するため、「ヴィエントフラミンゴ」へのイオンビーム照射を行い、同品種の花色や草姿が異なる新品種の育成に取り組んだ。

[技術の内容・特徴]

1 育成経過

平成20年度に「ヴィエントフラミンゴ」の葉片培養物にイオンビーム照射を行い変異個体を獲得後、選抜を行った。その後、農業技術センターで選抜及び特性調査を継続し、平成22年度に地域研究員である関口政行氏と共同で最終的な選抜を行うとともに、特性が安定していることを確認して育成を終了した。平成23年12月に「ヴィエントラビオス（仮称）」と命名して品種登録出願し、平成24年3月に出願公表された。

2 品種特性

- (1) 花色がこれまでにない独特のオレンジ系である（図1、表1）。
- (2) 花は中輪で、舌状花の長さや幅のバランスや舌状花同士の重なりバランスがとれ、花形に優れている（図1、表2）。
- (3) 草姿は半直立性であり、草丈はヴィエントフラミンゴと同程度である（表3）。
- (4) 開花時期は「ヴィエントフラミンゴ」や「マザーシンフォニー」と同時期（1～6月）である（表3）。
- (5) 色あせが少なく、長く花を楽しめる。
- (6) 耐暑性に優れ、栽培が容易である（表3）。

[利用上の留意点]

- 1 栽培方法は、オステオスペルマム一般品種に準ずる。
- 2 本品種は（独）日本原子力研究開発機構、（有）はなせきぐちとの共同出願品種である。
- 3 当面は、県内の農業者団体に許諾と種苗（親株）供給を行う。

[具体的データ]



図1 新品種「ヴィエントラビオス（仮称）」

左：花の拡大写真

右：5号鉢での開花状況

表1 「ヴィエントラビオス（仮称）」の花色特性

品種名	舌状花主色	カラーチャート No.	複色の有無	複色の色	複色の パターン	花色濃淡の パターン
ヴィエントラビオス	明赤橙	31B	無	—	—	縦縞
ヴィエントフラミンゴ	淡黄ピンク	27D	有	濃紫ピンク	縦縞	—
マザーシンフォニー	鮮黄	9B	無	—	—	均一

※ カラーチャートNo. はRHSカラーチャートによる

表2 「ヴィエントラビオス（仮称）」の花器特性

品種名	頭花直径 (mm)	舌状花長 (mm)	舌状花幅 (mm)	舌状花 長さ／幅の比	舌状花枚数
ヴィエントラビオス	56.2	26.4	6.3	4.2	22
ヴィエントフラミンゴ	57.5	27.1	6.8	4.0	24
マザーシンフォニー	61.9	29.3	6.2	4.7	22

表3 「ヴィエントラビオス（仮称）」の生育特性

品種名	草姿	草丈 (cm)	葉身長 (mm)	葉身幅 (mm)	開花期間	耐暑性
ヴィエントラビオス	半直立	26.4	43.5	12.5	1～6月	強
ヴィエントフラミンゴ	半直立	26.9	40.9	12.1	1～6月	強
マザーシンフォニー	直立	40.4	45.6	13.1	1～6月	中